

We are
CHANGE
PROMOTER.

大企業と中小企業
大卒求人倍率は「8倍」以上の差！？

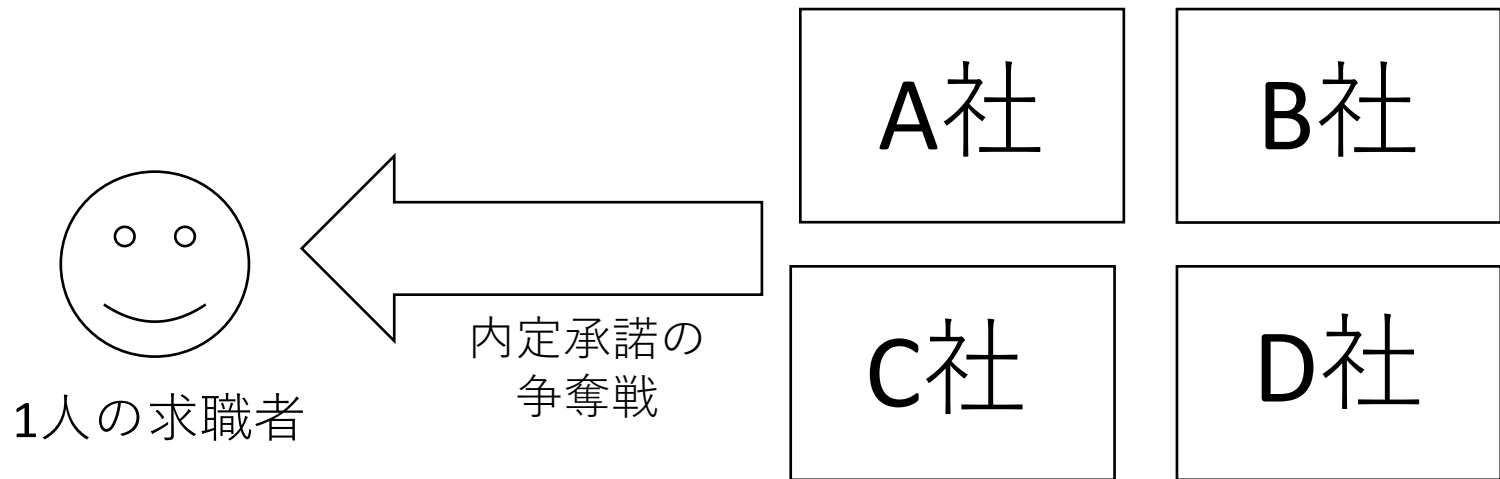
 ご相談はこちらから 

新聞やニュースでも良く取り上げられる「求人倍率」、
分かるようでわからない言葉かもしれません...

そもそも求人倍率とは何か？

採用企業の日線で言うと、

「何社で1人の求職者を取り合っているか？」



求人倍率＝何社いるか？

ニュースで多く取り上げられる2つの求人倍率

「大卒の求人倍率（新卒対象）」

新卒（大卒）向けの求人数 ÷ その年の民間企業就職希望者数（大卒）

※リクルートワークス研究所が公表

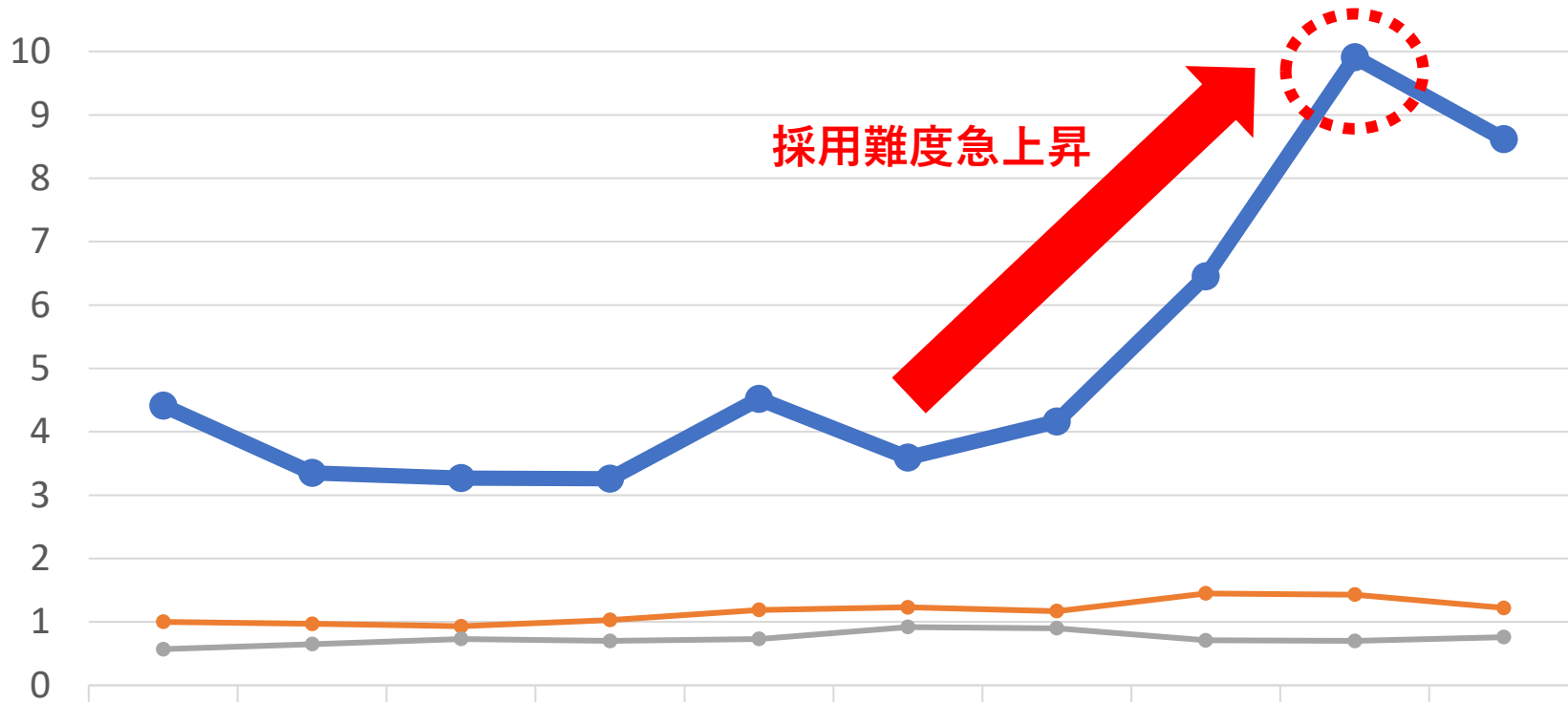
「有効求人倍率（中途市場）」

月間有効求人数 ÷ 月間有効求職者数

※ハローワークで扱った前月から繰り越しと当月に受け付けた求人求職者が対象

* 新卒向け求人は含まない

従業員規模別 大卒（新卒対象） 求人倍率の推移



	11年卒	12年卒	13年卒	14年卒	15年卒	16年卒	17年卒	18年卒	19年卒	20年卒
● 300人未満	4.41	3.35	3.27	3.26	4.52	3.59	4.16	6.45	9.91	8.62
● 300-999人	1.00	0.97	0.93	1.03	1.19	1.23	1.17	1.45	1.43	1.22
● 1000人以上	0.57	0.65	0.73	0.70	0.73	0.92	0.90	0.71	0.70	0.76

景気が良くなると、大手企業の採用枠が一気に増えるため、『自分も大手企業には入れるのではないかと...』と学生や求職者は考え、大手企業への志望者が増えます

その結果、ピークとなった2019卒は、
“従業員300人未満の中小企業における大卒の求人倍率は9.9倍”
(10社で1人の学生を取り合う＝9社は採用できない)

20卒では少し改善されたとはいえ、8.62倍。
つまり、“8社に7社は採用できない”という状態です。

中小企業が若手採用を成功させるには下記が必要な時代です

- 1. 新卒採用に本気で取り組む（コストや新しい試みへの投資）**
- 2. “採用のブルーオーシャン”を見つける**

Ex) 高卒、大学中退者、既卒者、留学生、海外留学帰り...etc

 **ご相談はこちらから**